



徳島阿波おどり空港・標示板



徳島駅前・案内板

徳島大学パイロット事業支援プログラム（社会貢献支援事業）

《徳島における多言語表示に関する言語景観調査研究》

徳島の多言語景観 —他都市との比較—

日時：2011年 2月 18日(金)午後1時～

場所：309講義室（総合科学部1号館3階南棟）

企画：国際化に伴う多言語表示推進グループ

最近、空港や駅などの案内板や標示板が変わりつつある。これまで日本語だけの表示だったものが英語、中国語、韓国語など複数以上の外国語によって多言語表記されている。「多文化共生」といった視点から外国人に対する言語上のサービスを徹底しようという動きが日本各地で起きている。徳島をはじめ、他都市で行った多言語景観に関する調査の結果をもとに「多言語化」の現状と、今後、真剣に考えなければならない「多文化共生」の意義について討論する。

連絡先 徳島大学総合科学部日本語学研究室

TEL・FAX 088-656-9309

Email kishie@ias.tokushima-u.ac.jp

第1部

《研究発表》

長町 哲治(徳島県文化スポーツ立県局国際交流戦略課課長補佐)

題目 「多文化共生のまちづくり」

岸江 信介(徳島大学大学院リゾ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授)

題目 「徳島の多言語景観調査報告」

中井 精一(富山大学人文学部准教授)

題目 「富山市での多言語化の現状」

米 麗英(上海财经大学准教授)

題目 「上海の古北区と虹橋区における言語景観」

村田 真実(徳島大学大学院教育学部博士後期課程)

題目 「他都市の言語景観」

陳 英(徳島大学総合科学部研究生)

董 艶秋(徳島大学総合科学部研究生)

題目 「徳島での観光パンフレットの翻訳現状」

第2部

《討論》

「徳島の多言語景観—他都市との比較—」

司会者：岸江信介



三重県津市阿漕浦海岸・掲示板



阿波踊り会館・「火気厳禁」の標示板